※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１８

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　言語文化　（大修館書店）						
副教材等	未定						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・伝統的な言語文化に関心を持ち、言語感覚を磨き、豊かな想像力を身に付けましょう。
・有名な古文と漢文の作品を読みながら、基礎的な文法や句法を学習していきます。
・予習、復習は必ずおこないましょう。予習の仕方は授業の中で説明します。
・提出物の期限を守り、小テスト、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	伝統的な言語文化への理解を深め、古典を進んで学習する意欲をもっている。 生活や人生について考えを深め、人間性を豊かにし、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ［教材］ 「漢字と仮名の使い分け」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：日本語の表記の特色について、筆者の主張を理解している。 c：日本語の表記の特色について、自分の考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	登場人物の人間関係や心理を読み取る。 ［教材］ 「水かまきり」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：水かまきりが作品中で果たす役割について、考えを深めている。 c：作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ［教材］ 「古文の言葉と仮名遣い」「児のそら寝」	a：重要な語句の意味を理解している。 b[読]：古典の言葉に慣れ、正しく音読している。話の展開を理解している。 c：作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 ［教材］ 「十二の『子』文字」	a：会話の発言者が誰であるか、理解している。 b[読]：話の展開を理解し、内容を把握している。 c：漢字の読みと日本の言語文化について、理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ［教材］ 「足し算の文化」	a：日本文化と他国文化の違いを理解している。 b[読]：日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえている。 c：身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	訓読のきまりを学ぶ。 ［教材］ 「訓読のきまり」「格言」「再読文字」	a：訓読のきまりについて理解している。 b[読]：書き下し文を理解し、本文を正確に読んでいる。語句の意味を理解している。 c：漢字や漢文に対する興味・関心を高めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
2学期	小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ［教材］ 「羅生門」	a：作者や日本近代文学についての理解を深めている。 b[読]：下人の心理の移り変わりを、場面に即して読み取っている。 c：元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	さまざまな詩歌を読み、表現を味わう。 ［教材］ 「詩歌の調べ」	a：詩の形式や和歌の修辞技法、俳句の季語などを理解している。 b[書]：興味をもった作品について調べ、わかりやすくまとめている。 c：作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査 プリント	定期考査 行動の観察 (プリント・発言など)	行動の観察 (プリント・発言など)

※令和４年度以降入学生用

	音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ［教材］ 「徒然草」	a:『徒然草』の内容や作者についての理解を深めている。 b[読]:登場人物の行動や心情を読み取っている。 c:随筆について理解し、興味・関心を高めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	故事成語に親しむ。 ［教材］ 「守株」「借虎威」	a:現代生活でどのような場合に故事成語を用いるのか理解している。 b[読]:語句の意味を正確に理解している。 c:故事成語の意味や使われ方に興味をもち、その由来に関心をもっている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	人物、情景、心情の描写を的確にとらえる。 ［教材］ 「祖母が笑うということ」	a:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]:タイトルに込められた筆者の思いを読み取っている。 c:祖母と孫のやりとりに興味をもち、教材文を味わっている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	古人の生活様式や恋愛観を理解する。 ［教材］ 「伊勢物語」	a:恋愛・結婚など、現代とは異なる当時の時代背景への理解を深めている。 b[読]:和歌に込められた心情を理解している。 c:古文や和歌に親しみ、登場人物の心情について考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
3学期	小説を精読して作品の理解を深め、そのおもしろさを味わう。 ［教材］ 「夢十夜」	a:作者や日本の近代文学についての理解を深めている。 b[読]:作品の構成を理解し、寓意を読み取っている。 c:作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	リズムある原文の表現を読み味わう。 ［教材］ 「平家物語」	a:「木曽の最期」の背景への理解を深めている。 b[読]:軍記物語のおもしろさを理解している。 c:軍記について理解し、興味・関心を高めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)
	古人が示した知恵や教訓について、理解する。 ［教材］ 「完璧」	a:『十八史略』の内容や時代背景について理解を深める。 b[読]:登場人物の行動や心情を読み取っている。 c:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発言など)	行動の観察 (ノート・発言など)

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　　5)時間

・読むこと　…　(　　65)時間